



### 英雄たちから学ぶ

飯田 凜太郎

7/30、私たちはカリバタ国立中央英雄墓地を訪れた。ここはインドネシアの英雄たちが眠る場所で、大統領も埋葬されている特別な場所だ。意外にも、ここには残留日本兵も埋葬されている。日本は1942年からインドネシアを占領し、戦後は日本降伏を受けてインドネシアが独立した。しかしオランダの再植民地化に対し、戦後現地に留まることを決意した残留日本兵はインドネシア側に立って戦った。日本の国籍を失いながらも命を捧げた彼らの姿に深く心を打たれた。だが残留日本兵の歴史は広く知られておらず未だに占領時代の日本人に対して否定的な感情を持つ人も少なくない。しかし私たちがこの神聖な墓地に招かれたのは、日本とインドネシアの深い絆の証だろう。戦後日本はODAを通じてインドネシアの発展に大きく貢献してきた。実際私も現地校での熱烈な歓迎を受け、両国の絆を実感した。JICAの方々が築いた、互いに尊重し合う関係性は美しく、心を打たれるものがあった。この墓地で感じたのは、戦争の残酷さへの後悔と、占領していた日本人を温かく受け入れてくれたインドネシアへの感謝だ。絆と縁の大切さを改めて感じたこの特別な経験は決して忘れてはいけない。私たちにはこの経験を伝える義務がある。だからこそまず私自身が日々の「全ての出会い」に感謝し学び続けていきたい。